2月号 CONTENTS

・鴨池のいきもの 2月
・オナジトコ チガウトコDX
・TORI TOPICS Jan.
・イベントあるよ！

かもいけつうしん 鴨池通信

No.270/2016.2

鴨池のガンやカモを度々襲うオジロワシやクマタカ。怖いけど、困るけど…かっこいい！！

鴨池のいきもの 2月

角鷹

まず断っておく。角鷹と言っても**角は生えていない**。逆立った頭のてっぺんの羽毛が角に見立てられているのだ。**熊鷹**とも表記されるが、無論私は**熊でもない**。強くて大きい鷹という意味だと聞いたが、それなら納得がいく。私は**森の王者**なのだからな。森に住み、ノウサギやリス、ヤマドリにキジ、時にはムササビやヘビも捕えて食らうのだ。森林における生態系の頂点に君臨しているということだな。我々の**翼は木立の間を飛び回るのに適したかたち**をしている。**尾羽にも入ったこの縞模様**も獲物の目をくらませるためのものだ。森の中だけではないぞ。鴨池のカモやガンも我々の標的なのだ。あれは美味いからな。

ガンもびびる森の王者 クマタカ

先日はヒシクイをいただいた。久しぶりの大物で満足であった。寒さが増したころにオジロワシがやってきたが、あやつのような小回りの利かない者がここでカモを捕らえられるはずもなかろう。私が池の王者になる日も近いのではなかろうか。オオタカ？あれなどは私から見ると赤子も同然だ。奴が捕らえた獲物は奪えばよい。しかしだ。王者がゆえに我々の生きる道は厳しい。獲物が豊富に生息している森でなければ我々も飢えてしまう。**直径1.5mを超える巣**を作るためには枝がしっかりした大木がなければならない。そんな場所はそうそう見つかるものではないのだ。幸い私はこの近くで暮らすことができているが同胞たちはどうしているのであろうか…。

仮に鴨池で出会うことがあっても獲物は譲らないのは言うまでもないがな。

TORI TOPICS Jan.

＊1月の鴨池に来た鳥・いた鳥・事件などなど、ハイライトでご紹介します！

○**オジロワシ**初認（9日）

←今年もきましたオジロワシ！24日に現れた時は乱れ飛ぶガンやカモたちで鴨池上空がしばし大パニックでした…

○**トモエガモ1000羽超える**（26日）

○**トモエガモ**今季最接近！（29日）

←ふらりと1羽だけ鴨池たんぼのすぐ向こうに現れたトモエガモ。肉眼でもトモエとわかるくらい！顔立ちのきれいなオスでした。

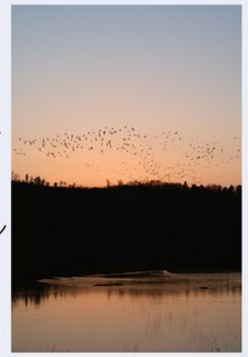
○**オオタカ、オオバン**捕獲（30日）

イベントあるよ！

ガンのねぐら入りをみよう

2月27日(土)・28日(日)
17：30～自由解散

夕焼けを背景に「落雁」するマガンたちが見られることも！！入れ替わるようにカモたちがたんぼへと飛び立っていきます！



※事前のお申込みは不要です。イベント開始時刻までにご来館ください。
※参加費は無料（別途入館券をご購入ください。大人310円・75歳以上150円・障害者手帳をお持ちの方、高校生以下は無料です）。

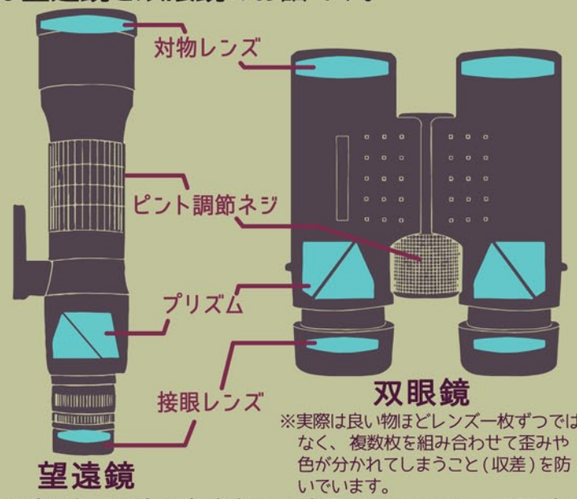
オナジトコ チガウトコ DX

今月の「オナジトコ チガウトコ」は**望遠鏡**と**双眼鏡**のお話です。

望遠鏡と双眼鏡、バードウォッチング初心者の方には、この二つが「片目で見るもの」と「両目で見るもの」という違いだけ、さらに言うと双眼鏡は「望遠鏡を2個並べただけ」だと思っている方が結構いて、初めて買う双眼鏡選びで失敗される方が多いのですが（実はさくRも大学時代に失敗している…）、実はこの二つは全く違うものです。

もちろん両方とも遠くを拡大して見るための道具で、レンズの組み合わせや逆さになった像を元に戻すためのプリズムなど、**基本的な構造はオナジ**なので、「双眼鏡は望遠鏡を2個並べたもの」というのが完全に間違いというわけではありません。

では何がチガウトコなのかというと、この二つは**使用方法が違い**、望遠鏡は「**三脚を使って固定して使うもの**」で、双眼鏡は「**手で持って使うもの**」なのです。



※実際は良い物ほどレンズ一枚ずつではなく、複数枚を組み合わせて歪みや色が分かれてしまうこと（収差）を防いでいます。

それによりまず出てくる違いが**倍率の差**です。望遠鏡は20倍から60倍の高倍率でも使用できますが、双眼鏡に適している倍率は6倍から10倍までです。

なぜ適切な倍率が違うかというと、**倍率が高ければ高いほど見える範囲が狭くなる**ので、手で持って使う双眼鏡で高倍率にしてしまうとフラフラ揺れてしまい（手ブレといいます）うまく見ることができないからです。また、**倍率は上げれば上げるほど見えているものが暗くなってしまう**のですが、望遠鏡は三脚で支えることができるので、レンズを大きくして多くの光を取り込んで明るくすることができるのに対して、手で持つ双眼鏡は重すぎると手で支えられなくなってしまうので、レンズの大きさはあまり大きくできません。

←覗いた時に見える黒い穴（見かけ視界）の大きさが同じときに、倍率によって見える範囲（実視界）の違い。高倍率だと見える範囲がとても狭い。

これらのハンデを無視して高倍率で売っている双眼鏡もありますが、これらは双眼鏡本来の役目を忘れて、「高倍率」という「いかにも良さそうなもの」で知らない人を釣ろうとして売られているものなので全くお勧めしません。（**悪い高倍率より、いい低倍率の方がより細かいところまでしっかり見えます**）。いい双眼鏡を使うと、見える範囲が広く、明るく、手ブレに強いので、空を飛んでいる鳥を追いかけたり、近くの木々のなかから鳥を探したりするのがとても楽になり、バードウォッチングがさらに楽しくなります。

※画像では小さく見えますが、真ん中に写っているヒシクイは40mぐらいの距離にいます。それを8倍の双眼鏡で見ると5mから見た時とほぼ同じ大きさに見えることになるので倍率的には充分です。ちょうど腕をまっすぐ伸ばして手を広げると、親指の先から小指の先までが約20°になります。左側ふたつの円はその3倍の大きさに見えています。

8倍 視界8°　（58.4°）　20倍 視界3.2°　20倍 視界1.5°

さくRのおすすめは、**倍率8倍、対物レンズ30～40mm、視界が7°以上の双眼鏡**です。ホントはここもっと詳しく書きたいのですが、スペースの都合で割愛です(^_^;)

観察館では双眼鏡を実際に使い比べてもらいながら、より詳しいお話もできますのでぜひお越しください。

鴨池観察館通信紙 No.270　鴨池通信2016年2月号

発行 ： 加賀市鴨池観察館
制作編集 ： 加賀市総合サービス株式会社　田米希久代　櫻井佳明　中野夕紀子
〒922－0564　石川県加賀市片野町子2－1
TEL ： 0761－72－2200　FAX ： 0761－72－2935
E-mail ： kamoike@kagashi-ss.co.jp　URL ： www.kagashi-ss.co.jp/kamoike/

Twitter・Facebookで最新ニュースお届け中！Facebookはアカウントなしでも見られます!!

指や紙などで片方を隠すと読みとりやすいよ！

Twitter　Facebook